障害者の福祉的就労と
日中活動サービス支援の
あり方について

ー個別支援の充実と
社会参加を目指して 2023ー

「一人ひとりの願いの実現を目指した支援」

社会福祉法人　中野社会福祉協会

生活介護事業所　ひだまりいろ

管理者・サービス管理責任者　森 史子

就労継続支援B型　ぽけっと

生活介護事業所　ひだまりいろ

社会福祉法人
中野社会福祉協会

ひだまりいろ概要

- 開所に至るまでの経緯
- 開所　平成27年4月1日
- 定員　25名

  （登録利用者　男性30名、女性17名　計47名）
- 平均支援区分 5.1
- 職員体制　16名

  （管理者/サービス管理責任者 兼務 1名、
  看護師 4名、生活支援員 11名）

利用者主体の支援

① ご本人が望むこと(ニーズ)を十分に理解すること！

② ご本人の自己決定を支えること！

→自己実現へ

最初のステップは、アセスメント

言葉で伝えることが難しい方
自分で決めるのが難しい方

ご家族の方から

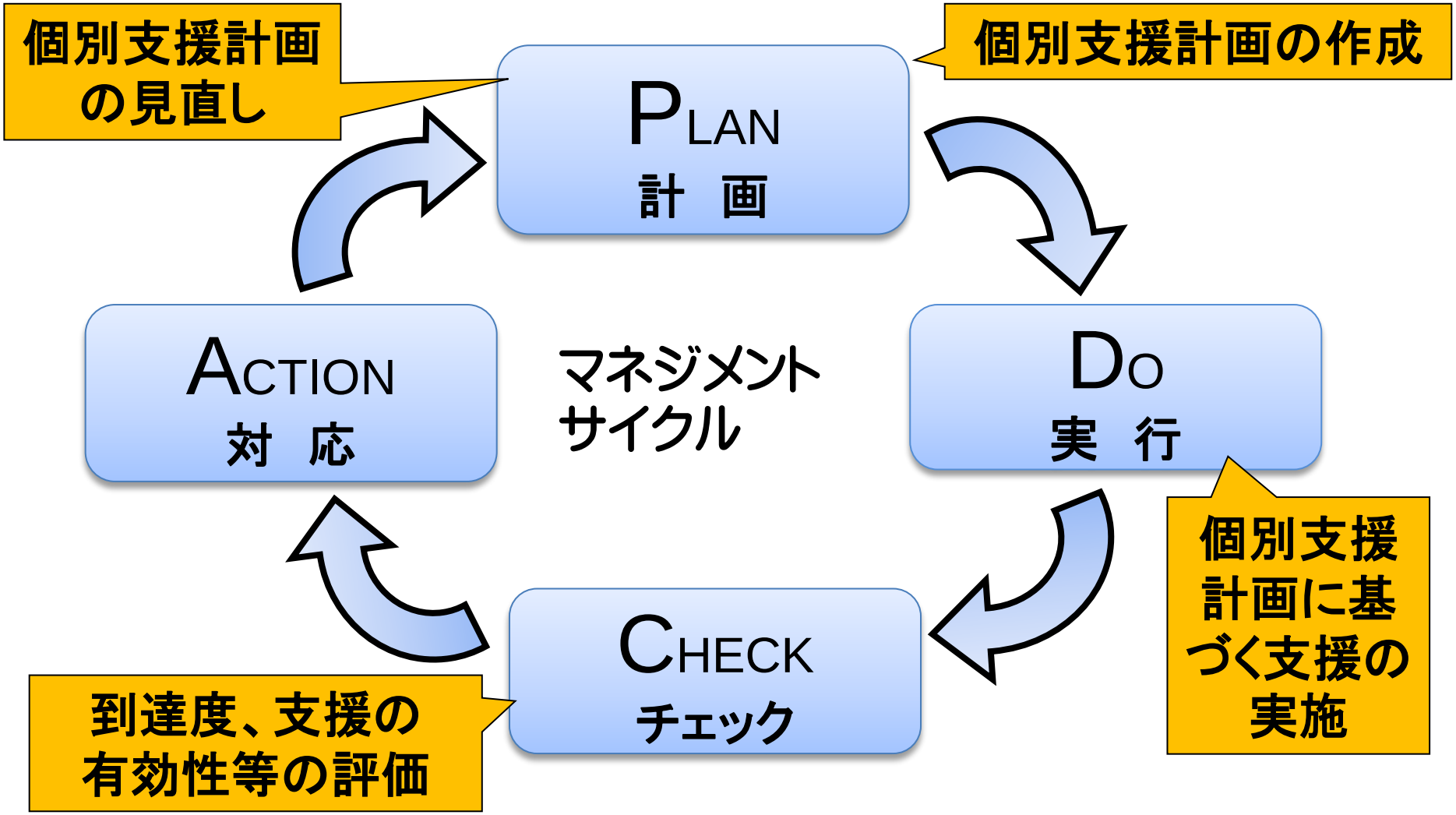
成年後見人の方から

他機関の方から

医師等の専門家から

ご本人の同意を得て
情報収集をしっかりと！

個別支援計画による支援
（PDCAサイクル）



さまざまな日中の活動の中で…

- 生活
  食事、排泄、健康（医療的ケア）
  コミュニケーション、情緒…
- 活動
  創作活動、調理活動、音楽活動
  生産活動、社会的活動…

「あなた自身のことや、あなたが
希望することを教えて下さい。」

ご本人の意思決定

ひだまりいろでの
具体的な実践を例に

1. 知る・理解することからスタート！

- 好きなことや得意なことは何だろう？
- 表情、動作、言葉、行動、
  自分で手を伸ばすもの、
  目線の先は？
- 毎日のやり取りの中で
- 自己実現からの広がり

2. 振り返りつづけること

- 職員の価値観で推しはかってはいないだろか？
- この手助け、本当に必要だろうか？
  （先に先にしてしまってはいないだろうか？）
- 何もしないで良いと思ってはいないだろうか？
- 見逃してはいないだろうか？
- 決めつけてはいないだろうか？
- 可能性をうばってはいないだろうか？

ご本人が中心にいるだろうか？

色について

初期アセスメント

↓

個別支援会議

↓

サービス担当者会議 …… 視能訓練士

↓

視能訓練室へ → 支援へ

3. 地域社会の中で

- 事業所内で出来ることから
  事業所内だけでは出来ないことへ
- 広がっていくもの
- 影響は一方向のもの？

役割を担うこと＝社会参加